



四小だより 8月17日号

令和2年8月17日(月)
国立市立国立第四小学校
校長 牧野 陽一郎

合言葉「夢いっぱい 感動いっぱい チャレンジいっぱい 国立第四小学校」

2学期が始まりました

校長 牧野 陽一郎

本日8月17日は、令和2年度2学期開始の日です。

子供たちの挨拶、笑顔、いいものです。とても元気が出ます。

今年は夏休みがほぼ2週間という、例年と違う状況でした。昨年の今の時期、一年後がこのような状況になるとは、誰も思っていなかったと思います。2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、連日その話題でいっぱいな夏になると考えていました。しかし、新型コロナウイルスの影響でオリンピック・パラリンピックは延期となり、夏休みが短縮、という予想もできなかった状況の今年の夏でした。

夏休みだけでなく、昨年度末からの状況は、例年とは違い戸惑うことばかりです。新年度が始まり、始業式、入学式が実施でき喜んでいた矢先の臨時休業。前年度から計画していた教育活動は、中止や延期、未定・・・といった先行きが予想できない状況が今も続いています。そのような中、様々な対応を工夫しながら実施可能かと考えていた5年生野外体験教室の中止も、準備をして当日に向かってきた子供たちや保護者の皆様の心情を察すると苦しい思いでいっぱいです。

この判断も、他の教育活動についての判断も、すべて子供たちの生命の安全や身体の健康を考えての判断です。今後も、苦しい判断を迫られる場面が想定されますが、子供たちの生命の安全や身体の健康を第一に考えた教育活動を進めて参ります。

今年度は、小学校において新学習指導要領が全面実施となる年です。

現在の状況を考えると、遠い将来を見通した教育ということだけではなく、今まさに先行き不透明な時代を生き抜く力を子供たちに身に付けさせてあげなければという思いでいっぱいです。

その実現のためには、まず「健康であること」が大前提であると痛感しています。健康でなければ、新学習指導要領でうたっている「主体的・対話的で深い学び」の実現は不可能だからです。

2学期も、新型コロナウイルス感染症への対応を怠りなく、子供たちの健康・安全を最優先に教育活動を進めて参ります。併せて、熱中症への対応も行って参ります。

保護者、地域の皆様のご理解、ご協力を、今学期もどうぞよろしくお願い申し上げます。